

住宅耐震化緊急促進アクションプログラム

令和 3 年度実績報告

令和 2 (2020) 年度～令和 3 (2021) 年度

令和 4 (2022) 年 3 月

稲 城 市

1 令和3年度取組内容及び実績

(1) 木造住宅の所有者に対する直接的な耐震化促進（個別訪問）

令和元年～令和2年に実施したアンケート調査及び戸別訪問により、耐震化未実施と判定された、木造・非木造住宅1,393件を対象とし、個別訪問等により、リーフレット等を用い耐震化の必要性及び補助制度の概要を説明する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、稲城市消防本部が実施する「令和3年度住宅防火診断」において、戸別訪問時に、耐震助成制度のパンフレットを該当者に配布した。

(2) 耐震診断実施者に対する耐震化促進

令和3年度、市補助事業を利用して耐震診断を行った木造住宅の所有者2名に対し、耐震診断終了時に耐震改修工事を行う意思の確認及び補助制度の説明を行った。この結果、耐震改修工事を行う意思を確認した。

(3) 改修事業者の技術力向上に関する取組及び改修事業者リスト

ア 木造住宅耐震改修事業者講習会を東京都との共催で予定していたが、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から中止となった。このことから、代替措置として市内の改修事業者4社に日本建築防災協会のWEB講習を受講していただき技術力向上を図った。

イ 耐震改修事業者リストを作成し、市ホームページ上で公開した。

また、稲城市木造住宅耐震診断・改修における窓口相談の機会において、改修事業者リストの活用を図った。

(4) 耐震化の必要性に係わる普及・啓発

ア 11月に開催された「令和3年度 稲城市防災訓練」において、耐震化の必要性について普及啓発を行った。

イ 5月に開催された「都市計画マスタープランオープンハウス」にて、パネル展示及びパンフレット設置・配布を行った。

イ 耐震改修の普及・啓発を目的としたパンフレットを作成し、市窓口での配布及び市ホームページに掲載した。また、昨年度に続き稲城市役所平尾出張所にパンフレットを設置し、更なる促進を図った。

ウ 市報及びホームページにより、耐震改修の必要性等について周知した。

(5) 補助戸数の実績

ア 木造住宅に対する耐震診断費補助戸数：2戸（目標戸数：7戸）

イ 木造住宅に対する耐震改修費補助戸数：3戸（目標戸数：3戸）

2 令和3年度の実績を受けた課題

令和3年度は、木造住宅を対象に耐震助成制度のパンフレット送付、耐震改修促進活動に取り組んだ結果、耐震改修利用件数は目標戸数に達したが、耐震診断利用件数は、昨年度の実績（診断2戸）と同じ件数であり、目標戸

数に届かない結果となった。

引き続き耐震診断の普及・促進に努めていくものとする。

3 改善策

- (1) 耐震診断後一定期間経過しても耐震改修を行っていない木造住宅の所有者に対し、継続してフォローアップを実施する。
- (2) 各種イベント時、住宅耐震化の必要性や耐震診断・改修に係わる補助制度を積極的に普及・啓発していく。
- (3) パンフレット等の設置個所を拡充し、更なる補助制度の周知を図る。